

## 便の便り NO. 8

今回の便の便りは『便秘と大腸がん』についてです。

### <便秘は大腸がんの原因になる？>

便秘は大腸がんの原因としての証拠はありませんが、便は長時間腸に滞っていると腸を刺激し、発ガンの誘因となりえます。できれば、毎日決まった時間に便が出せるように食物繊維をとってください。工夫しても出にくい方は下剤と上手にお付き合いしましょう。

### <下剤との付き合い方>

色々な下剤がありますが、毎日漫然と飲み続けると腸の働きが弱ってしまう刺激性下剤という下剤があります。当院ではセンナリドやシンラックがこれにあたります。また、下剤が効き過ぎて下痢してしまうと腸を動かす重要な成分が流れて不足します。つまり下剤が原因で便秘になる場合があります。下剤との付き合いは繊細なのです。

### <便秘だと思っていたら大腸がん>

大腸がんの症状として、便秘があります。便の通過が悪くなるほど癌が腸をつめてしまうと便秘（時に下痢になるこのもあります）になるのです。癌で便秘になる場合は突然のこともあります。徐々に便秘がきつくなっていきます。便秘がきつくなっている場合、一度、当院便秘肛門外来を受診してください。

**吉報！！**

### <痛まず注射で痔の治療>

当院では脱肛の注射の治療を行っています。長い間、悩んでいた痔が痛みなく、半日ですっきり良くなったと患者さん（すでに 250 人の患者さんから喜びの声をいただいています）からは好評いただいています。

お悩みの方がおりましたら、当院（外科）川島の外来を受診してください。

治療費は3割負担の方で約2～3万円になります。

